

Sant' Eustachio®
il caffè
dal 1938 a Roma



エチオピア、シダマユニオンの有機コーヒー

-アルトロメルカートより輸入、カフェ サンエウスタキオの自家焙煎-

伝説によるとエチオピアで12世紀前、ある羊飼いの羊達が間違っただけで食べてしまった赤い実はコーヒーの実だったようです。したがってエチオピアが世界で一番古くからコーヒー文化に携っていたと言えるのではないのでしょうか。人口7千5百万人、アフリカで3番目に人口の多い国です。他諸国と比べても匹敵する歴史をもっており、民族の多様性に於いてはアフリカ唯一の国といえます。エチオピア経済を支えるものは農業と家畜業で、特にコーヒーの生産と輸出は重要な部分を占めています。

南西部には大きな農地が広がっていて、そこに住む人々はイスラム教のハム族からくるシダマ部族です。そこで多く行われているのが“コーヒー庭園”方式栽培で、コーヒーの木は1ヘクタールにつき1000~1800本と密集しすぎないように余裕をもって植えられています。農業者たちは有機肥料(動物の糞)を使い、コーヒーの木を太陽と風から守る為ヤシの木とバナナの木も植えられています。栽培地の95%は小さく、収穫作業はだいたい家族一体となってやります。収穫された実はすぐ選別され協同組合へ売られ“湿式”加工、つまりコーヒーの外皮と果肉を取り除き、自然発酵させ流水で洗い流して天日干しさせる作業を行います。この“湿式”加工された豆の30%以上がこの地域からくるものです。

2001年に設立された “SIDAMA COFFEE FARMERS UNION” (シダマコーヒーファーマーズユニオン) はエチオピア南西部の8万6千人の栽培者からなる45の協同組合で成り立っています。

この一帯は標高、降水量を含め理想的な気候条件と土壌に恵まれ、アラビカ種を栽培するのにとても適した所です。約7万2千ヘクタールで行われているコーヒープランテーション、1年間で35トンのコーヒーを生産します。今日シダマユニオンの協力により栽培者達はとても整った生産活動下に置かれています。92人の精製者と倉庫数133、59台の運搬用トラックと車、そして政府からの許可があるので彼等が直接コーヒーを顧客に売ることが出来ます。40%のエチオピア産コーヒーが政府の合格認証を受けて売られています。24の協同組合がBSC OKO GARANTIEのオーガニック認証を受け、18がFAIR TRADE LABELING ORGANIZATION、ほかにも7つがL'UTZKAPERに認証され社会責任や環境発展に参加し、人間らしさをもってコーヒー作りに取り組んでいます。シダマの有機コーヒーは独自のピリツとした酸味とスパイスを連想させる香気がコーヒー通にも愛されています。

ALTOMERCATO (アルトロメルカート)とは

CTMアルトロメルカートとは120の団体からなる非営利目的の事業団で、エコオソリダレ(公正取引)を広め、助成、促進をしています。活動はアフリカ、アジア、中南米の農業者、職人達の団体からなる協同組合を通して、融資、その地域の特産物、食品、手工芸品などの販売を行い、世界南北間の経済問題について情報収集し、その解決を目指しています。15年の活動歴で、今までに40か国150の生産者達のグループに共同事業を計画してきました。発展途上国の製品を適正な価格で購入すること、労働に釣り合った賃金を保証し、生産者側と直接的な共同関係を持続的に築き、注文分の50%までを前払いすることにも同意しています。1989年に北イタリアのボルツァーノ市で数人の人と協会が一緒になって始めたのが最初で、現在CTMは世界で118の店と、イタリアでは230の売店を持ち、200人以上を雇い、約3000人ものボランティアに支えられています。2003年には売り上げ高3千万ユーロ、前年と比較で30%の成長率で、今のところイタリアの公正取引事業団では最大の組織と言えます。(世界第2位)